

# 目で見える言語の視点から紐解く 「言語的多文化共生」

## - ろう者・ろう学校の現場から -

手話は独自の文法体系をもつ独立した言語です。また、その背景には豊かなろう者の言語文化があります。本講演では、なぜ手話が言語だと言えるのか、ろう者のアイデンティティやコミュニティとはどのようなものなのかを取り上げます。また、ろう教育の過去・現在の概要も紹介し、教育と言語の関係を考える機会にもしたいと思います。



なかしま たけし

中島 武史 さん

兵庫教育大学 特別支援教育専攻 准教授

関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科博士前期課程修了（修士/言語科学）。大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了（博士/言語文化学）。

【研究テーマ】「コードの言語使用・言語意識と心理」「ろう児のリテラシー」「ろう教育の社会言語学」など。

# 7月7日（火）



## 5限 16:00~17:30

開催方法：Zoomオンライン



対象：東京外国語大学 学生のみなさん  
(@tufs.ac.jp のアドレスが必要)

申込：<https://forms.gle/5bXhAK6V9qjc8wGx7>



申込締切：7月7日（火）12:00